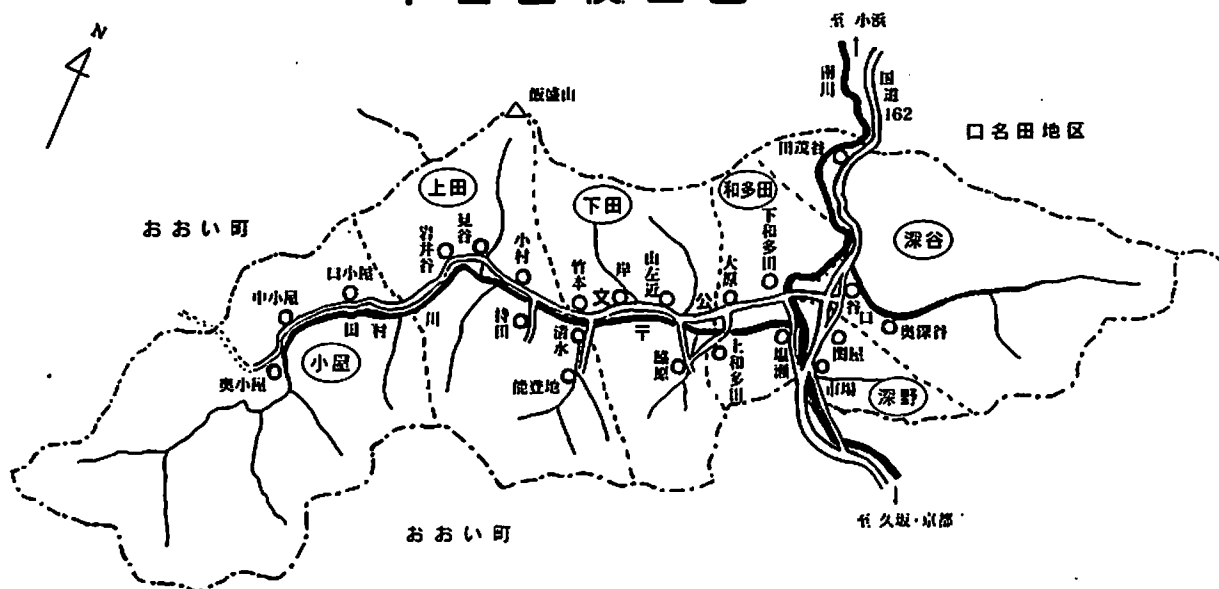


中名田校区図



中名田小学校校区の概要

中名田地区は、小浜市の南西端に位置し、四方が山に囲まれた自然豊かな地域である。東西13km、南北4.5kmの細長い地形で、その87%が山地である。そこを西から東へと田村川が南川に流れ込む。その流域に6地区が散在し、総世帯数333戸、人口994人（H30.4.1現在）である。

市内で最古といわれる深野遺跡（縄文前期）が発掘され、古代より人間の住みついていた痕跡が残されている。平安初期、京都の武将坂上田村麻呂が荒地を開墾し、私有地とした。その土地を管理する事務所の一つを田村（現上田、下田）に置いたという歴史もある。そのため、六斎念仏に代表される伝統的な生活文化が数多く残っている。

近世になると、京極高次が小浜城を築城する折、特に多く木炭を納めたとされている。また、酒井忠勝の時代に和紙の原料である楮と三椏の栽培が奨励され、和紙産業が振興することとなった。以降、製紙と製炭は、中名田地区の二大産業となり、若狭の特産となって長く栄えた。しかし、現在では製紙2軒を残すのみとなっている。

昭和26年に、旧中名田村が廃止され、小浜市に統合された。また、昭和30年代の高度成長期を迎え、自動車の利用が増えるに伴い、地域における生活や労働も一変し、現在に至っている。

校区の世帯数・児童数・PTA会員数

| 地区名 | 世帯数 | 児童数 | P会員 | 地区名 | 世帯数 | 児童数 | P会員 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小屋 | 16 | 1 | 1 | 和多田 | 86 | 14 | 9 |
| 上田 | 58 | 9 | 6 | 深野 | 41 | 1 | 1 |
| 下田 | 83 | 6 | 5 | 深谷 | 49 | 2 | 2 |
| | | | | 合計 | 333 | 33 | 24 |